

平成 29 年度

(第 55 事業年度)

# 事業報告書

公益財団法人 マリンスポーツ財団



# 目 次

一 般 概 況 .....	1
---------------	---

## 第1章 事 業

### I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業 .....	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業 .....	6
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業 .....	10

### II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 .....	11
2 特殊小型船舶操縦講習事業 .....	12
3 マリンスポーツ施設の運営事業 .....	13

### III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業 .....	15
---------------------------	----

## 第2章 組 織

1 理事会及び評議員会 .....	19
2 役員等の動向 .....	19
3 監査 .....	19
4 関係団体との交流 .....	19
5 環境に配慮した活動 .....	20
6 職員等の動向 .....	20
別表1 役員名簿 .....	21
別表2 評議員名簿 .....	21

## 参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況 .....	22
------------------------------	----



# 事業報告

(第55事業年度)

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

## 一 般 概 況

当財団の平成29年度の諸事業は、関係各位の多大なる協力のもと、所期の目的を達成して、ここに終了した。

近年、水辺の事故がクローズアップされることが多くなり、海水浴をはじめとする水辺離れの傾向が顕著になっている。

このような背景のもと、当財団では、より多くの人々が安心して水辺に親しむことができるよう、国内外の関係機関と連携し、水辺の安全性の向上と溺水事故防止に重点を置いて事業を遂行した。

主たる事業としては、「いつでも・どこでも・だれもが」安全、快適に水辺の余暇を楽しめるよう、関係官庁・自治体・公益団体等と連携して、水辺の安全教育等による啓発や、マリンスポーツアクティビティの体験型イベントを通じて海事思想の普及を図った。

また、小型船舶を活用する公的機関等に対して安全運航講習会を行い、安全意識や操船技量の向上を図ると共に、新たな指定管理者期間をスタートした大阪府営二色の浜公園をはじめ、水辺利用を主たる目的とした横須賀市のボートパーク(深浦・浦賀)、新潟県柏崎市みなとまち海浜公園の管理業務においては、利用者に対するルール・マナーの啓発を行い、施設の適正な運営管理を行った。

その他水上オートバイのルールやマナー、安全意識と操縦技能の向上に重点をおいた免許取得講習会を開催するとともに、各種マリンスポーツ競技団体や全国各地のMarisクラブに対して、健全な競技の普及と、地域社会との連携を図れるよう活動への支援・協力を行った。

これらの事業活動についてはホームページ、フェイスブック等を積極的に活用し、有効な周知を図ることができた。

# 第 1 章 事 業

## I 公益事業

### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業 1）

本事業は、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、安全意識を高めるための水辺の安全教室や、マリンスポーツ体験イベント等を開催し、多くの参加者に対してマリンスポーツの魅力を体感させることができた。

また溺水事故防止対策として「WEAR IT! ライフジャケットを着よう！プロジェクト」や、「ライフジャケットレンタルステーション」の推進、マリンスポーツ関連器材の貸与等の活動支援を行った。

#### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

##### ① 親水イベントの開催・支援

##### a. 親水イベントの開催支援・協力

##### (a) マリンスポーツフェスティバル in 蘇我

実施期日	4月30日（日）
実施場所	千葉県千葉市 フェスティバルウォーク蘇我前港湾海域
実施内容	・スーパーキッズボート体験操船 ・カヌー体験乗船 ・SUP体験乗船とSUPヨガ体験 ・海の安全教室
参加人数	495名（昨年度467名）

##### (b) 体験乗船会 in 石巻（Ready, Set, Wear it 石巻と併催）

実施期日	5月20日（土）
実施場所	宮城県石巻市 石ノ森萬画館
実施内容	・スーパーキッズボート体験操船 ・カヌー体験乗船
参加人数	235名

##### (c) 浦賀マリンスポーツフェスタ2017

実施期日	8月12日（土）
実施場所	神奈川県横須賀市 浦賀ボートパーク
実施内容	・スーパーキッズボート体験操船 ・水上オートバイ体験乗船

- ・水辺の安全教室
- ・鯛の稚魚放流体験

参加人数 59名

(d) 二色の浜 オータムFES. 2017 (AQUA SOCIAL FES2017)

実施期日 10月1日(日)

実施場所 大阪府貝塚市 二色の浜公園

- 実施内容
- ・スーパーキッズボート体験操船
  - ・水上オートバイ体験乗船
  - ・カヌー体験乗船
  - ・SUP、BIGSUP体験乗船、
  - ・ビーチクリーン活動
  - ・ビーチヨガ教室

参加人数 319名(昨年度514名)

b. 共催、協力イベント

期 日	行事名称	場 所	参加者数	前年度
5/20-21	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (共催：(公社)日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (常設訓練所)	718	776
6/4	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催：協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	405	294
6/10-11	マリンカーニバル 2017 (主催：UMI協議会)	東京都江東区 (若洲ヨット訓練所他)	721	784
7/15-16	横須賀うみかぜカーニバル 2017 (共催：横須賀市、Marisクラブ湘南)	神奈川県横須賀市 (うみかぜ公園)	1,044	1,136
7/17	「いずみさの関空マリーナ」海洋体験 (主催：泉佐野ウォーターフロント株)	大阪府泉佐野市 (泉佐野関空マリーナ)	79	90
合 計			2,967	3,080

② 海洋学習 (Maris 海洋スクール) の開催

a. Maris 海洋スクール in 海の公園

実施期日 10月15日(日)

実施場所 神奈川県横浜市 海の公園

- 実施内容
- ・水辺の安全について
  - ・海と船の歴史について
  - ・カヌー体験乗船会

参加人数 11組22名

③ 「WEAR IT!」(ライフジャケットの着用)活動の推進

a. 「Ready, Set, Wear It!」キャンペーンへの協力

ライフジャケットの必要性や、溺水事故防止の呼びかけを目的とするライフジャケットの常時着用を呼びかける国際キャンペーンに参加し、水辺の安全啓発を積極的に推進した。

1日(24時間)における着用者数世界記録(10,917名)の更新とはならなかったものの、日本での参加人数は昨年度より増加となった。

実施期日 5月20日(土)

実施場所 宮城県石巻市(石ノ森萬画館)

神奈川県横浜市(海の公園)

愛知県碧南市(勤労青少年水上スポーツセンター)

大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)

その他全国各地

参加人数 8,911名(うち日本:3,412名・昨年日本:3,032名)

b. ライフジャケットレンタルステーションの設置

海水浴場等においてライフジャケットの無料貸し出しを行い、ライフジャケットの認知、及び安全に対する意識の向上を図った。

	設置場所		利用者数	前年度
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	2,462	1,654
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	137	118
3	静岡県浜松市	弁天島海水浴場	208	—
4	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	272	200
5	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	396	113
6	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	139	121
7	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	11	9
8	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	21	23
9	神奈川県横浜市	海の公園 海水浴場	48	22
10	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	407	299
(新)11	神奈川県茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	168	—
(新)12	神奈川県足柄下郡	湯河原海水浴場	481	—
	合計		4,750	2,559

c. みんなでライフジャケット写真投稿キャンペーン

平成30年2月からのライフジャケット着用義務範囲の拡大に向け、国土交通省とのコラボレーション企画として、ライフジャケットを着用した写真のSNS投稿キャンペーン及び、ライフジャケットの人気投票コンテストを実施し、ライフジャケ



ット着用義務範囲拡大の周知並びにライフジャケット着用の普及啓発を図った。

(a) みんなでライフジャケットイベント in 逗子

実施期日 7月17日(祝・月)  
実施場所 神奈川県逗子海水浴場  
実施内容 ・ライフジャケットコンテスト  
・ライフジャケット写真撮影

(b) みんなでライフジャケットイベント in 海の公園

実施期日 8月6日(日)  
実施場所 神奈川県横浜市海の公園  
実施内容 ・ライフジャケットコンテスト  
・ライフジャケット写真撮影

(c) みんなでライフジャケットイベント in 木更津

実施期日 8月23日(土)  
実施場所 千葉県木更津市みなと木更津うみ祭会場  
実施内容 ・ライフジャケットコンテスト  
・ライフジャケット写真撮影

(d) みんなでライフジャケットイベント in 東京湾大感謝祭

実施期日 10月21日(土)  
実施場所 神奈川県横浜市赤レンガ倉庫前  
実施内容 ・ライフジャケットコンテスト

④ マリンスポーツ関連器材の貸出し

a. イベント等での利用

キッズボート、無線機、ライフジャケット、AED他

b. 特殊小型船舶免許の講習会、国家試験における利用

水上オートバイ

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園における安全啓発(受託事業)

柏崎市の受託施設において、利用者への指導や施設等の適正な運営を行った。

実施場所 新潟県柏崎市みなとまち海浜公園

実施時期 平成29年4月 8日～ 6月30日のうち23日間

7月 1日～ 8月31日のうち61日間

9月 1日～11月30日のうち29日間 計113日間

- 業務内容
- ・海岸入場口の管理
  - ・マリンスポーツ交流センター（管理棟）の管理
  - ・海岸エリアの監視
  - ・利用者へのルール、マナーや安全指導

利用状況 過去5年間における当施設の利用状況は表のとおり

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録数（隻）	475	246	0	69	37
登録車両（台）	497	131	0	55	56
利用者（名）	5,955	3,620	0	230	370

※27年度は水深が浅く、安全確保の為水上オートバイの利用を禁止した

※28年度から1日30隻限定で水上オートバイの乗入れを再開している

## 2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

### （1）ウォーターセーフティエキスパートの育成

指定管理施設のスタッフ等に対して、水辺の事故に迅速に対処するために救急救命処置、救助システム構築等に係る講習を実施した。

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
2/8	水上安全・救護指導員講習	大阪府貝塚市	指定管理施設スタッフ	10
2/27	水上安全・救護指導員講習	神奈川県平塚市	職員・管理スタッフ	8
合 計				18

### （2）水上オートバイ等安全運航講習会及び水上安全の普及啓発

水上オートバイを活用した安全運航講習会等により救助者の安全意識の向上及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、各種イベントにおける水上管理業務やパトロール等による安全、マナー及びルール等の啓発活動を行った。

#### ① 水上オートバイの安全運航教育及び救助技術講習会

当財団の内部組織である安全運航教育機関K38JAPANが、米国の公的機関向け教育プログラムによる講習会や、国内公的機関に対して安全運航教育等を行った。

##### a. プロフェッショナルレスキュー講習会の実施

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
10/6-8	ステージ1・2・3	神奈川県平塚市	試験機関等	4
11/3-5	ステージ1・2・3	静岡県浜松市	ライフセーバー、消防士	10
12/18-20	ステージ1・2・3	沖縄県沖縄市	消防士等	9
合 計				23

b. 舟艇捜索救助、安全運航等講習及び研修会

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
5/11	安全対策実務者研修	北海道小樽市	第一管区海上保安本部	33
5/22	安全運航教育	広島県呉市	海上保安大学校学生	60
9/7	安全運航講習	東京都府中市	運輸安全委員会調査官他	9
9/8	安全運航講習	東京都府中市	運輸安全委員会調査官他	11
9/26	PWC指導研修	広島県呉市	第六管区海上保安本部他	20
10/3	舟艇捜索救助講習	新潟県糸魚川市	糸魚川市消防士	22
10/3	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	40
10/4	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	40
10/21	舟艇捜索救助講習	神奈川県横浜市	消防士、試験機関他	17
11/2	舟艇捜索救助講習	静岡県浜松市	消防士、警察官	30
12/14	安全対策実務者研修	神奈川県横浜市	第三管区部署安全対策係	17
12/17	舟艇捜索救助講習	沖縄県沖縄市	消防士	10
12/21	トレーニングコース	沖縄県沖縄市	消防士他	5
2/23	舟艇捜索救助講習	群馬県高崎市	消防士 機動隊員他	227
合 計				541

c. 水上安全管理等の活動

期 日	内 容	場 所
4/15-16	広島ボートショー レスキューデモンストレーション	広島県廿日市市
4/30	マリンスポーツフェスティバル in 蘇我 安全管理	千葉県千葉市
6/4	Marine Sports Festival in 隅田川 安全管理	東京都台東区
6/10-11	マリンカーニバル2017 安全管理	東京都江東区
6/19	3機関合同海難訓練 (岸和田海上保安署・貝塚警察署・貝塚市消防本部)	大阪府貝塚市
6/24	SUPレース 安全管理	北海道小樽市
6/24	宮島クリーンアップキャンペーン	広島県廿日市市
6/25	みやじま国際パワートライアスロン 安全管理	広島県廿日市市
7/8	NOWS茅ヶ崎烏帽子岩OWS大会2017安全管理	神奈川県茅ヶ崎市
7/15-18	東京海洋大学海洋実習 安全管理	千葉県南房総市
7/22	NOWS三宅島OWS大会2017安全管理	東京都三宅島
8/3	第8回サマーフェスティバル宮島 安全管理	広島県廿日市市
8/12-13	NOWS三浦OWS大会2017安全管理	神奈川県三浦市
8/26-27	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市
10/22	東京湾大感謝祭 レスキューデモンストレーション	神奈川県横浜市

## ② 水上安全に関する国内外との連携強化

### a. I B W S S (International Boating & Water Safety Summit)への参加

平成29年4月23日(日)～26日(水)まで、アメリカ合衆国フロリダ州セントピーターズバーグにおいて開催された「第21回インターナショナルボートینگ&ウォーターセーフティサミット(I B W S S)」に日本から当財団職員2名の他、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会から2名、海上保安庁から交通部安全対策課課長1名が参加し、国際的な水上安全に関する動向、舟艇事情等の情報収集及び関連機関との連携強化を図った。特に初めて日本の海上保安庁が参加したことにより、セレモニーにおけるスピーチの機会を得ることができ、また米国、カナダ、ニュージーランド等多くの国家機関関係者と情報交換、交流を図ることができた。これにより、日本における水上安全の国家的取組みに弾みがついた。

### b. 第2回水上安全運航サミット Japan Boating & Water Safety Sammit(J B W S S)の開催

当財団、(一社)水難学会及び(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会との連携協定のもと、水上安全をテーマとして、舟艇及び水上安全等に関わる団体が集い、情報の発信と共有、団体間の効果的な連携、協調により、更なる水難の防止、安全対策の向上を図ることを目的に実施した。特に海上保安庁、国土交通省が共催となり、官民連携による水上安全、安全運航に関する取組みに対する関心が高まった。

実施期日 6月11日(日)

場 所 東京都中野区 帝京平成大学

主 催 J B W S S 連携協議会

参加者 34団体・114名(昨年度:16団体・51名)

### c. T P S P (Tokyo PWC Safety Project)プロジェクトへの協力

東京港湾区域、運河、河川における水上オートバイの安全で健全な利用の推進を図るため、「東京港・湾・河川における水上オートバイ安全航行プロジェクト(T P S P)」に参画し、一般ユーザー等に対する安全講習会や、水上オートバイによる周辺パトロールを通じて安全指導を行った。

#### (a) 水上オートバイによるパトロール

期 日	内 容	場 所
4/1-2	夢の島マリーナ入口管理	東京都江東区
4/7	目黒川パトロール	東京都品川区
6/2	大岡川PWC走行検証会	神奈川県横浜市
7/2	第3管区海上保安部合同安全啓発キャンペーン	東京都江東区
10/21-22	安全パトロール	東京一横浜
1/20	東京海上保安部合同安全啓発キャンペーン	東京都江東区
3/31	東京海上保安部合同目黒川安全啓発パトロール	東京都品川区

(b) 水上オートバイ安全講習会

回数 4月/2回、5月/2回、6月/3回、7月/2回、8月/3回、  
9月/3回、10月/2回、12月/1回、1月/2回、2月/1回、  
3月/1回、計22回

場所 東京都江東区、夢の島マリーナ他

受講者数 787名（昨年度1,417名・通算2,740名）

③ 水上安全対策の強化

国内における水難救助技術の高度化に向けて、K38 JAPANインストラクター  
に対するトレーニングを実施するなど、スキルの向上と更なる体制整備を図った。

a. K38 JAPANミーティング&トレーニング

期 日	内 容	場 所
11/6	サーフエリアトレーニング	静岡県湖西市
11/9-11	IRB（インフレーターブル・レスキュー・ボート）トレ ニング（日本小型水難救助艇協会合同）	宮城県東松島市
12/11	メンバーミーティング	東京都港区

b. 外部会議、調査等への参加、協力

期 日	内 容	場 所
5/8・6/13 7/11	大岡川利用調整等に係る検討会（航行ルール策定）	神奈川県横浜市
6/16	東京港運河利用ルール検討会（東京都港湾局）	東京都品川区
6/13・11/10	日本マリン事業協会PWC部会	東京都中央区
7/7	石狩湾マリンレジャー対策協議会（小樽海上保安部）	北海道小樽市
7/8・8/19	事故調査協力と安全管理（水難学会）	北海道江別市
7/22	利根大堰上流水面利用等協議会（利根川河川事務所）	群馬県館林市
8/18・11/17	水上オートバイ勉強会（消防・警察・医療関係者他）	北海道札幌市
8/28	水難事故行方不明者捜索協力（海上保安部・消防他）	北海道小樽市
8/29・11/7 1/18・2/28	浸水区域における救助技術の高度化検討会（消防庁）	東京都千代田区
10/18	水上オートバイ事故に係る走行実験（札幌南警察署）	北海道千歳市
10/22 11/22・3/16	水上オートバイの安全対策に係る意見交換会 （海上保安庁）	神奈川県横浜市 東京都千代田区
12/6	海上安全指導員意見交換会（東京都海上保安部）	東京都江東区
1/31	小貝川下流域水面利用等協議会検討会 （下館河川事務所）	茨城県取手市

期 日	内 容	場 所
2/15	海の安全推進アドバイザー意見交換会（海上保安庁）	東京都千代田区
3/13	小貝川下流域水面利用等協議会（下館河川事務所）	茨城県筑西市

### 3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府の指定管理施設において、公園管理業務に加え、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を行った。

#### （1）二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

- 管理期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日
- 所在地 大阪府貝塚市
- 管理施設 公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）  
水上オートバイ施設、バーベキュー施設
- 業務内容
- ・各施設の運営及び維持管理
  - ・水上オートバイ施設利用者のルール、マナー及び安全指導
  - ・周辺海域の監視

#### ① 公園利用状況

##### a. 公園利用者数（平成29年4月1日～平成30年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	75,752	148,548	54,740	84,376	84,536	54,612	31,320	41,396
テニスコート	1,052	1,028	1,271	1,318	1,144	1,192	1,938	917
軟式野球場	305	302	838	478	546	337	189	330
球技広場	833	1,319	985	790	761	945	940	1,039
スポーツ広場	0	148	0	128	128	3,010	318	344

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	19,896	22,192	20,460	50,772	688,600	735,661	94%
テニスコート	896	562	1,039	1,648	14,005	16,625	84%
軟式野球場	366	474	385	305	4,855	5,710	85%
球技広場	1,356	1,573	1,896	802	13,239	12,091	109%
スポーツ広場	80	248	424	354	5,182	3,102	167%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	125	247	232	555	580	229	49	39
新規登録	22	30	43	67	44	12	6	7
更新登録	5	15	9	31	39	20	5	0

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	48	57	29	75	2,265	2,416	94%
新規登録	3	2	2	8	246	266	92%
更新登録	1	0	1	2	128	116	110%

② 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加者数	前年度
8/26	キッズボート体験乗船会	38	28
10/1	二色の浜 オータムFES. 2017	319	514
12/10	二色の浜公園ウォーキングDAY	68	59
1/14	新春!お正月イベント 餅つき&ぜんざい作り	38	19
3/21	海浜緑地DAYキャンプ (雨天中止)	—	—
合 計		463	620

## II 収益事業

収益事業では、指定管理業務に付随する駐車場、便益施設、船舶保管の運營業務のほか、水上オートバイの免許取得講習会を実施した。

### 1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 (収益事業 1)

大阪府の指定管理施設において、駐車場、バーベキュー施設、売店などの便益施設の運営管理を行った。

#### (1) 海浜公園における駐車場管理・物販事業

実施時期 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日  
 実施場所 大阪府貝塚市 (沢、脇浜、二色南地区)  
 業務内容 駐車場、附属施設の運営及び維持管理

利用状況 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	6,698	12,853	4,977	7,683	7,829	5,226	2,806	3,582
野外炉利用者	2,374	4,302	2,533	2,041	2,247	1,188	1,192	371

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,764	1,920	1,732	4,734	61,804	65,818	94%
野外炉利用者	0	2	15	310	16,575	18,551	89%

## 2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、操船技術、安全意識の向上に重点をおいた特殊小型船舶操縦の免許取得講習会を実施した。

### （1）Maris ジェットスクールの運営事業

#### ① 試験コース

次のとおり講習会を12回開催し、国家試験が25回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
5/6.6/17.10/14.11/25.3/10	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	34	
5/7.6/18.10/15.11/26.3/11	特殊小型船舶操縦士 国家試験	多摩川ボートレース場		51
5/30.6/26.7/25.9/22	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	42	
5/31.6/27.7/26.9/23	特殊小型船舶操縦士 国家試験	桐生ボートレース場		39
9/6.11/5	Maris ジェットスクール	二色の浜公園海浜緑地	5	
4/2.4/19.5/7.5/24.6/3.6/21 7/1.7/12.8/5.8/23.9/3.9/13 10/9.10/25.11/12	特殊小型船舶操縦士 国家試験	二色の浜公園海浜緑地		168
8/28	Maris ジェットスクール	新潟県立海洋高校	11	
8/29	特殊小型船舶操縦士 国家試験	新潟県立海洋高校		11
合 計			92	269

#### ② 教員育成

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が実施する小型船舶教習所教員初任研修に2名が参加した。



### ③ 教習体験乗船会

海洋高校のマリンスポーツ教科の一環として実施されるマリンスポーツ体験実習において、水上オートバイと小型船舶講習艇の免許教習体験を次のとおり実施した。実習では、そのほかシュノーケリング、カヌー、SUP（スタンドアップ・パドル・ボード）が行われ、授業とはいえ生徒たちはマリンスポーツを満喫していた。

期 日	内 容	場 所	受講者数
7/20-21	教習体験乗船会	新潟県立海洋高校	80

## 3. マリンスポーツ施設の運営事業(収益事業3)

### (1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営

横須賀市の指定管理施設である深浦ボートパーク、浦賀ボートパークにおいて施設運営管理を行うとともに、利用者に対する安全運航に関する指導や地元自治会と協働した自然観察会、地域住民を対象としたイベントを開催し施設の活性化を図った。

実施時期 平成29年4月1日から平成30年3月31日

実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク及び浦賀ボートパーク

業務内容 施設の管理及び利用者への安全啓発、指導

### ① 施設を活用した事業活動

#### a. 「Ready, Set, Wear It!」 ライフジャケット着用者数世界記録への協力

実施期日 5月20日（土）

実施内容 ライフジャケットの重要性を周知、1日の着用者数世界記録への挑戦

参加人数 32名

#### b. 咸臨丸フェスティバルにおけるアスパイア航海警備業務への協力

実施期日 4月29日（土）

実施内容 アスパイアの体験航海において、警備艇一隻を伴走させ海上警備及び緊急時の対応を行いました。

実施回数 4回

#### c. 深浦ボートパーククサフグ産卵観察会への協力

実施期日 6月10日（土）

実施内容 管理事務所への実施案内の掲示、ボートパークHPへの情報掲示等の広報及び観察会受付の設置並びに参加者への記念品として、横須賀市内の福祉施設3施設で手作りされている「トンネルクッキー」の提供等を行った。

参加人数 160名

d. 浦賀マリンスポーツフェスタ2017の開催

実施期日 8月12日(土)  
実施内容 キッズボート、水上オートバイ乗船体験、水辺の安全教室  
稚魚の放流  
参加人数 59名

e. 安全講習会の実施

実施期日 12月5日(火)・9日(土)  
実施内容 船長の遵守事項講義、AED操作実習、発航前の点検指導、  
曳航手法実習  
ロープワーク実習・荒天時対策スプリング結索実習をボートパー  
クスタッフ及び施設利用者を対象に実施  
参加者数 31名

f. 救急救命講習の実施

実施期日 2月27日(火)  
実施内容 水上安全・救護指導員講習会  
AEDを用いた心肺蘇生法、窒息・溺水・熱中症体位管理  
けがの対応(外傷初期対応)、情報伝達、救急医療体制と救急医事  
管理、CPRとAED、外傷初期対応の実技講習  
参加人数 8名

② 施設利用数

(平成30年3月31日現在)

	深 浦	浦 賀	計	前年度
係留船舶数	97	57	154隻	146隻
駐車場利用台数	11,937	3,437	15,374台	14,509台

### Ⅲ その他継続事業

各種マリンスポーツ競技団体や、全国各地の Maris クラブに対し、活動への支援・協力を行った。

#### 1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

##### (1) マリンスポーツ競技団体への活動支援

マリンスポーツ競技団体の運営体制、競技の普及、安全対策に対して支援を行った。

##### (2) 競技団体に対する運営支援

支援内容	支援先
団体助成	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWSA)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	日本アマチュアボートレース連盟 (JABF)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

##### ① 支援競技団体が実施した競技会

###### a. (特非) 日本水上スキー・ウェイクボード連盟、全日本学生水上スキー連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
8/31-9/3	第 62 回桂宮杯	秋田県大潟村	(9大学)	(9大学)
	全日本学生水上スキー選手権大会	(大潟村水上スキー場)	180	182
9/15-18	第 63 回桂宮杯	秋田県大潟村	78	160
	全日本水上スキー選手権大会	(大潟村水上スキー場)		
合 計			258	342

###### b. 日本ジェットスポーツ連盟

###### (a) 全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/15	第 1 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	99	108
5/20	第 2 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	89	102
5/21	第 3 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	107	107
6/17	第 4 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	86	104
6/18	第 5 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	96	105
7/15	第 6 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	91	112
7/16	第 7 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	112	122

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
9/16-17	第8戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	118	128
合 計			798	888

(b) フリースタイル全日本選手権シリーズ

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/29	第1戦	広島県広島市(ボートパーク広島)	8	—
6/10-11	第2戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	11	8
7/15-16	第3戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	12	10
7/29	第4戦	広島県広島市(ボートパーク広島)	6	10
9/10-11	第5戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	13	11
合 計			50	39

c. 日本ソーラー・人力ボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
8/26-27	全日本選手権大会2017	愛知県碧南市 (日本MB選手会常設訓練所)	18	14

d. 日本パワーボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
4/15	アクアバイク JAPANCUP2017 ROUND1	大阪府貝塚市	7	12
5/20	2017日本グランプリパワーボート レース in 小豆島	香川県小豆郡	57	—
6/11	TOPS2017 第57回クラブ合同レース	茨城県神栖市	23	23
5/21	アクアバイク JAPANCUP2017 ROUND2	愛知県蒲郡市	9	11
6/18	アクアバイク JAPANCUP2017 ROUND3	愛知県蒲郡市	6	11
7/16	アクアバイク JAPANCUP2017 ROUND4	愛知県蒲郡市	6	13
9/17	アクアバイク JAPANCUP2017 ROUND5	大阪府貝塚市	8	10
10/15	TOPS2017サーキットレース ROUND2	茨城県神栖市	19	14

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
12/3	芦ノ湖グリーンカップ モーターボートレース	神奈川県箱根 町	57	54
合 計			192	148

e. 日本アマチュアボートレース連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/16	2017関東連盟K400 第1戦	桐生ボートレース場	30	30
4/30	第21回淡路島ちどり賞競走第1戦	兵庫県 浦壁大池	30	30
5/7	2017関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	30	30
5/28	第21回淡路島ちどり賞競走第2戦	兵庫県 浦壁大池	36	36
6/13	2017関東連盟K400 第3戦	桐生ボートレース場	30	30
10/13	第17回東海グランプリ	常滑ボートレース場	30	30
11/4-5	全日本K400選手権大会 2017	桐生ボートレース場	18	—
合 計			204	186

- (3) マリンスポーツ団体に関連する競技者、資格者、競技艇等登録の推移  
当財団支援団体の競技者等登録状況は、【参考資料】(P.22) のとおりである。

(4) Maris クラブへの支援

① サンクスマリン21支援事業

a. Maris クラブの主催事業への支援

期 日	行事名称	開催場所	参加者数
5/27-28	マリンスポーツフェスティバル in あいおい	兵庫県相生市	304
7/8-9	第22回石狩川下覧権 体験乗船会	北海道砂川市	84
7/16	マリンフェスタ in 小樽	北海道小樽市	雨天中止
7/22-23	マリンスポーツフェスティバル in WAKAYAMA	和歌山県和歌山市	250
7/29-30	マリンスポーツフェスティバル in いわき	福島県いわき市	1,383
7/29	マリンスポーツ体験乗船会 in かしわざき	新潟県柏崎市	381
8/6	浦臼 夏の味覚まつり	北海道浦臼町	360
合 計			2,762

## b. ボランティアネットワーク

(Maris クラブの登録・認定)

登録番号	クラブ名	会員総数	新規会員	認定年月日
1	Maris クラブ 東京	18	—	2002年05月02日
2	Maris クラブ 和歌山	24	—	2004年06月17日
3	Maris クラブ いわき	20	—	2004年08月13日
4	Maris クラブ 千葉	11	—	2011年02月24日
5	Maris クラブ 柏崎	10	—	2003年12月25日
6	Maris クラブ 大阪	10	—	2004年01月07日
7	Maris クラブ 愛知	12	—	2006年06月01日
8	Maris クラブ 広島	10	—	2004年09月07日
9	Maris クラブ 相生	18	—	2004年09月07日
10	Maris クラブ 湘南	16	—	2004年09月14日
11	Maris クラブ 淡路島	10	—	2004年09月14日
14	Maris クラブ 北海道	12	—	2007年11月07日
16	Sea Net 浜松	—	—	2015年06月02日
計		171	0	

## 第 2 章 組 織

### 1. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を2回、評議員会を1回開催した。

#### (1) 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 15 回	平成 29 年 6 月 12 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1)平成 28 年度事業報告及び決算報告（案）の承認 について (2)その他緊急を要する件
第 16 回	平成 30 年 3 月 13 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1)平成 30 年度事業計画及び予算（案）並びに付帯 決議（案）の議決について (2)評議員会の開催について (3)その他緊急を要する件

#### (2) 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 12 回	平成 29 年 6 月 28 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1)平成 28 年度事業報告及び決算報告（案）の承認 について

### 2. 役員等の動向

平成 30 年 3 月 31 日現在の役員、評議員は別表 1. 2 (P. 21) のとおりである。

### 3. 監 査

本年度の監査は、次のとおり実施された。

期 日	実施者	場 所	内 容
平成 29 年 6 月 6 日	当財団監事	当財団 会議室	平成 28 年度事業報告及び決算

### 4. 関係団体との交流

本年度は、関係団体の式典、会議等に役職員が出席し、これらの団体との交流、業界の情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

#### (1) 関係団体

会 議 等 名	出席回数	内 容
表彰式典等	5	やまと学校入所及び修了式 2 回、 社会貢献者表彰式典 2 回、優秀選手表彰式典 1 回

(2) 官庁・海事関連団体等

主催団体	出席回数	会議内容
国土交通省	13	UMI 協議会
海上保安庁	5	水上安全、PWCに係る意見交換会等
消防庁	4	浸水区域における救助技術の高度化検討会
東京都港湾局	1	東京港運河利用ルール検討会
日本マリン事業協会	4	総会、PWC部会、BJ連絡調整会議
マリン関係団体等	1	日本船舶技術研究協会舟艇分科会
地方自治体	6	水域利用等ルール検討会

5. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを実現した。また、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

6. 職員等の動向

年度末における職員数は、男性契約職員2名の雇用に伴い8名、職域職員3名、常勤顧問1名、嘱託4名、臨時職員26名であった。



## 別表. 1

役員名簿（第3期）

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
会 長	笹 川 堯	
理 事 長	笹 川 善 弘	
常務理事	岡 村 一 臣	
理 事	松 木 勇	元 ヤマト発動機株式会社 相談役
理 事	中 島 敬 夫	株式会社三益産業 代表取締役
理 事	野 口 旭	元 東京都モーターボート連盟会長
監 事	竹 内 清 治	元 財団法人競艇振興センター 会長
監 事	大 濱 秀 夫	株式会社新東通信

任期：平成28年6月24日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで  
(平成30年6月)

## 別表. 2

評議員名簿（第2期）

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
評 議 員	梶 原 義 明	元 財団法人日本科学協会 常務理事
評 議 員	笹 川 和 弘	群馬県マリンスポーツ連盟 会長
評 議 員	本 間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟 会長
評 議 員	関 田 宏	元 ヤマト発動機株式会社 常務取締役
評 議 員	北 田 靖 則	公益財団法人献血供給事業団 理事長
評 議 員	糸 川 正 晃	元 衆議院議員

任期：平成28年6月24日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで  
(平成32年6月)

## 参 考 資 料

### 1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況

#### (1) モーターボート競技関係

##### ① 新規登録者の推移

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
選 手	15	15	17	24	37

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
選 手	44	40	28	44	54

##### ② 選手・競技艇等の登録状況推移

（選手の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
選 手	196	193	223	211	239

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
選 手	370	271	245	246	219

（公認競技員、登録検査員の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
公 認 競 技 員	37	34	34	30	29
登 録 検 査 員	29	27	29	26	23
合 計	66	61	63	56	52

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
公認競技員	85	61	56	53	47
登録検査員	41	21	23	23	20
合 計	126	82	79	76	67

(競技艇の登録隻数)

サーキット・オフショア (日本パワーボート協会)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
OFF シリーズ	27	26	30	37	39
V シリーズ	29	28	32	37	36
F シリーズ	35	31	35	33	36
ハイドロシリーズ	9	8	8	4	8
S シリーズ	1	1	1	1	1
アクアバイク	—	—	—	1	8
合 計	101	94	106	109	128

K400クラス (日本アマチュアボートレース連盟)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
K400	157	133	137	110	115

(2) 水上スキー競技関係

① 会員等の登録管理

(会員の登録者数)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一 般	230	254	193	212	106
学 生	154	225	255	299	294
ジュニア	13	19	25	22	22
合 計	397	498	473	511	422

(ジャッジ、ドライバーの登録者数)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ジャッジ	151	151	156	156	221
ドライバー	100	100	121	121	196
合 計	251	251	277	277	417

(3) ジェットスポーツ競技関係

① レーシングライセンス講習会

(新規選手講習会の受講者数)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
選 手	7	8	7	9	7

(選手の登録者数)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
プ ロ 級	55	62	61	54	54
A 級	64	58	62	88	53
B 級	49	42	37	40	33
フリースタイル級	22	17	8	17	19
合 計	190	179	168	199	159

(競技員、検査員の登録者数)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
競 技 員	17	17	12	13	8
検 査 員	32	32	31	33	23
合 計	49	49	43	46	31

(競技艇の登録隻数)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
スキーディビジョン	189	88	60	41	31
スポーツディビジョン	22	16	5	5	7
ランナバウトディビジョン	34	21	14	20	14
ランナバウト 1200	4	2	0	3	0
ランナバウト 1600	113	28	31	24	30
合 計	362	155	110	93	82



平成29年度事業報告書は、以上のとおりです。

平成30年3月31日

会 長 笹 川 堯 印

平成29年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり  
事業が完了したことを認めます。

平成30年 月 日

監 事 竹 内 清 治 印

監 事 大 濱 秀 夫 印